

ISSN 1883-5015

Annual Report of
The Hiroshima Prefectural Technology Research Institute
Eastern Region Industrial Research Center
2025.4.1 ~ 2026.3.31

No. 39

広島県立総合技術研究所
東部工業技術センター年報

令和 7 年度
(第 39 号)

広島県立総合技術研究所
東部工業技術センター

目 次

1. 業務概要	1
(1) 研究開発業務	
(2) 技術支援業務	
(3) 技術サービス業務	
(4) その他	
2. 研究開発業務	2
(1) 課題解決研究	
(2) 基盤研究	
(3) 受託研究	
(4) 研究成果の公表	
3. 技術支援業務	5
(1) 技術相談・技術支援	
(2) 技術的人材育成の支援	
(3) 研究会活動	
(4) 他機関への協力・支援	
(5) 他機関との連携	
4. 技術サービス業務	12
(1) 依頼試験、設備利用及び機器整備	
(2) 刊行物等による情報提供	
(3) 外部委員等の委嘱及び講師等の派遣	
(4) その他(技術交流等)	
5. 職員研修	20
6. 知的財産権	21
(1) 登録特許権等	
(2) 出願中の特許等	
7. 職員表彰と学位授与	22
8. 沿革・組織・規模	23
(1) 沿革	
(2) 組織	
(3) 職員	
(4) 土地・建物	
(5) 予算の執行状況	
付録 令和8年度組織	27

1. 業務概要

広島県立総合技術研究所は、県内の技術領域の異なる 8 センター（保健環境センター、食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター、農業技術センター、畜産技術センター、水産海洋技術センター、林業技術センター）が属しており、県民の安心安全や県内産業の活力強化に貢献できる試験研究機関を目指しています。複数の技術の横断的・融合的な研究に取り組むことで、県民・産業ニーズに対応できるように努めています。

東部工業技術センターでは、「ゴム、プラスチック、繊維等の有機・高分子材料技術」、「金属系材料等の加工・計測・分析評価技術」、「機械技術」、「光計測技術」、「電子技術」、「資源環境技術」等の分野を担っています。平成 30 年度には、機能強化事業として X 線 CT、3D デジタイザ、熱衝撃試験機等を新規導入し、デジタルものづくりを支援するための部署を新設しました。令和元年度には、経済産業省「平成 30 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業）」により、摩擦かくはん接合装置を新規に導入しました。また、令和 6 年度には、万能引張圧縮試験機（500kN）を更新しました。

(1) 研究開発業務

県内企業の発展や、企業の課題解決に繋がる研究開発に取り組んでおり、令和 7 年度は、一般財源による基盤研究 15 課題と民間企業等からの受託研究 3 課題を実施しました。

これらの研究成果の移転・普及を目的に、センター研究報告等をホームページに掲載し、支援事例発表会を開催しました。

(2) 技術支援業務

地域企業の要望に基づいた技術課題の解決や新製品・新技術の開発を支援しました。

令和 7 年度の技術支援実績は、3,276 件（所内指導 3,182 件、現地指導 94 件）で、課題解決策を検討し技術支援レポートを交付する技術的課題解決支援事業は 132 件でした。

企業の技術人材育成支援としては、技術者研修を 1 課程（4 企業 5 名参加）実施しました。

また、ひろしま先進ものづくり研究会を事務局として運営しました。

(3) 技術サービス業務

企業からの依頼に基づいた試験を 5,390 件実施しました。また、企業が新製品・新技術を開発する等での試験研究設備・機器の利用は 6,205 件でした。

その他、外部から技術委員等の委嘱を受け、各種補助事業の評価・審査への協力や、技能検定委員等への職員派遣を行いました。

(4) その他

保有する知的財産権の利活用状況を踏まえた登録特許等の継続・消滅等、整理を行いました。

2. 研究開発業務

(1) 課題解決研究

- ・該当無し

(2) 基盤研究

センター枠として13課題（摩擦攪拌接合分野、IoT 情報通信分野及び機械学習・画像数値解析分野等）を実施しました。

所長枠として2課題（機械学習・画像数値解析分野）を実施しました。

(3) 受託研究

① 競争的外部資金等

○ 摩擦かくはん点接合等においてインプロセスでの接合強度の予測技術の開発

研 究 期 間	令和4～7年度	担 当 者	○大石 郁
予 算 区 分	一般研究開発助成（公益財団法人 天田財団）		
研 究 概 要	本研究では、摩擦かくはん点接合等に対し、より確実に、かつ迅速に接合品質を管理する手法を確立すること、すなわち、接合時において接合中の温度変化や振動などの挙動を捉え、それら挙動から接合強度をインプロセスで予測することを目的として研究を行います。		
研 究 成 果	本研究期間を通じ、摩擦かくはん点接合の接合強度を予測する技術を開発しました。具体的には、接合時の温度や垂直圧力の変化といった生データから特徴量（説明変数）を抽出し、それら説明変数と接合強度の関係性を分析することで主要な説明変数を選定しました。そして主要な説明変数を用いて接合強度を予測したところ、実際の接合強度との相関関係が位置制御 FSSW では $R^2=0.94$ 、圧力制御 FSSW では $R^2=0.88$ と高精度の結果を得ることができました。		

○ 摩擦攪拌プロセスを用いた鋳物表面の欠陥補修技術の開発

研 究 期 間	令和5～7年度	担 当 者	○市川皓基
予 算 区 分	奨励研究助成（若手研究者枠）（公益財団法人 天田財団）		
研 究 概 要	本研究では、摩擦攪拌プロセスを用いて、銅合金鋳物やアルミ合金鋳物に発生する中巢に起因する表面開口欠陥を、摩擦攪拌プロセスで補修する技術開発を行います。		
研 究 成 果	アルミ合金板に疑似欠陥を作製し、摩擦攪拌プロセスを用いて補修が可能な加工条件を把握した。同様の加工条件にてアルミ合金鋳物についても補修が可能であることを確認しました。		

② 民間企業等

受 託 件 数	受 託 研 究 費
3 件	486 千円

(4) 研究成果の公表

① 投 稿

ア 学協会への論文等投稿

No.	題 目	著 者	学協会誌等
1	摩擦攪拌現象とアンカー効果を利用した新たな異種材料接合技術の開発	坂村 勝	助成研究成果報告書 (公益財団法人天田財団) 38 (2025) 150-154
2	レーザークリーニングによる溶射被膜の除去加工 ーニッケルクロム溶射被膜の除去加工ー	花房龍男、 大田耕平	レーザー加工学会誌 32. 3 (2025) 26-30
3	レーザ加工による溶射前処理手法の検討	大田耕平、 花房龍男	溶射技術 45. 4 (2025) 38-41

イ 東部工業技術センター研究報告（令和7年12月17日発行）

【技術報文】

No.	題 目	著 者
1	深層学習による画像認識（第1報）	廣川勝久
2	深層学習による異常検知手法の簡単な比較（第6報）	廣川勝久

【技術ノート】

No.	題 目	著 者
1	水素ガスによる金属溶射皮膜の作製	花房龍男、大田耕平
2	事前深層学習モデルの転移学習による能力比較（第2報）	廣川勝久
3	深層学習による画像の領域分割（第3報）	廣川勝久

【他誌掲載論文】

No.	題 目	著 者	学協会誌等
1	金属粉末射出成形法による純銅製部材製造技術の開発	花房龍男、古川大輔 ¹⁾ 、 市川皓基、遠藤栄治 ¹⁾ 、 中山英樹 ¹⁾	公益財団法人中国地域創造研究センター 2024 年度新産業創出研究会研究成果報告書

1) 株式会社キャステム

② 口頭発表

ア 学協会での発表

No.	題 目	発表者	学協会	開催日
1	統計的手法による摩擦攪拌点接合強度の予測	大石 郁、 坂村 勝、 松葉 朗、 大田耕平、 市川皓基	一般社団法人溶接学会 2025 年度 秋季全国大会	R 7. 9. 26

イ センター支援事例発表会

No.	題 目	発表者	開催場所	開催日
1	デスクトップ 3D プリンタの活用事例	竹 保 義 博	東部工業技術 センター講堂	R 7.12. 9
2	メルトインデクサーの活用事例	塚 脇 聡		
3	X 線 CT による柔軟素材のモデリング事例	山 形 亮 太		
4	工業製品の破面観察による破壊解析事例	大 田 耕 平		
5	センターホームページの紹介	青 山 進		

終了後、機器見学を実施

ウ その他会議等

No.	題 目	発表者	開催場所	開催日
1	将来の生産工程・ビジネスモデルが変わる？広島から発信する FSW (摩擦攪拌接合) のご提案	坂 村 勝	芝浦機械グループソリ ューションフェア 2025 (芝浦機械沼津工場)	R 7. 6. 4
2	将来の生産工程・ビジネスモデルが変わる？広島から発信する FSW (摩擦攪拌接合) のご提案	坂 村 勝	くまもと軽金属コンソ ーシアム令和 7 年度講 演会 (熊本大学先進マ グネシウム国際研究セ ンター)	R 7. 7. 9

③ 展示会等出展

No.	展示内容	展示会名 (開催場所)	開催期間
1	保有技術紹介 (接合技術等)	近畿大学工学部 研究公開フォーラム 2025 (広島国際会議場)	R 7. 8.26

3. 技術支援業務

(1) 技術相談・技術支援

① 所内・現地別

担 当 部	所内指導		現地指導		合 計*	
	相談件数	企業数	相談件数	企業数	相談件数	企業数
技 術 支 援 部	47	41	73	37	120	73
デジタルものづくり支援担当	325	76	1	1	326	77
材 料 技 術 研 究 部	1,274	154	7	6	1,281	155
加 工 技 術 研 究 部	1,536	243	13	10	1,549	245
合 計	3,182	385	94	46	3,276	401

※同一企業で所内指導と現地指導があり、また複数部での指導があるため、企業数の合計は一致しない。

② 業種別

業 種 名	技術支援部		デジタルものづくり支援担当		材料技術研究部		加工技術研究部		合 計	
	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数
建 設 業	1	1	0	0	0	0	13	8	14	9
食 料 品 製 造 業	1	1	0	0	10	3	4	2	15	5
織 維 工 業	5	3	4	3	22	6	29	5	60	13
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	2	1	0	0	21	2	19	6	42	7
家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	1	1	5	1	19	3	12	5	37	8
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	1	4	2	13	5	12	2	30	7
印 刷 ・ 同 関 連 業	0	0	0	0	9	1	0	0	9	1
化 学 工 業	0	0	0	0	39	7	64	9	103	13
石油製品・石炭製品製造業	0	0	0	0	18	1	0	0	18	1
プラスチック製品製造業	6	4	2	1	324	26	93	14	425	33
ゴ ム 製 品 製 造 業	2	2	11	4	145	13	22	7	180	19
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	10	3	1	1	11	4
鉄 鋼 業	0	0	0	0	8	3	2	2	10	5
金 属 製 品 製 造 業	20	12	18	9	59	11	311	55	408	66
一 般 機 械 器 具 製 造 業	26	16	76	14	226	26	510	44	808	63
電子部品・デバイス製造業	7	4	53	9	61	7	63	9	184	16
電 気 機 械 器 具 製 造 業	15	5	85	13	56	9	133	17	289	27
輸送用機械器具製造業	5	2	22	9	38	8	64	14	129	19
そ の 他 の 製 造 業	10	7	35	6	30	5	32	8	107	21
運 輸 業	0	0	0	0	0	0	9	3	9	3
卸 売 ・ 小 売 業	0	0	1	1	7	2	34	14	42	15
学 術 ・ 開 発 研 究 機 関	3	2	3	1	27	5	10	6	43	11
技 術 サ ー ビ ス 業	4	4	3	2	111	4	71	8	189	11
協 同 組 合	5	2	0	0	0	0	16	2	21	3
廃 棄 物 処 理 業	1	1	0	0	11	3	0	0	12	3
サ ー ビ ス 業	1	1	0	0	0	0	1	1	2	2
公 務	4	3	0	0	7	1	4	3	15	5
そ の 他	0	0	4	1	10	1	20	1	34	1
合 計	120	73	326	77	1,281	155	1,549	245	3,276	401

※同一企業で複数部での指導があるため、企業数の合計は一致しない。

※個人は区別せずにその他として集計したため、その他の企業数はすべて1とした。

③ 技術的課題解決支援事業

担当部	依 頼 目 的						合計	企業数
	新製品・ 新技術開発	品質改善、 品質保持	クレーム 対 応	他者への 証明	定期的な 試験検査	そ の 他		
デ ジ タ ル も の の づ く り 支 援 担 当	13	2	0	0	0	0	15	10
材 料 技 術 研 究 部	20	2	3	5	1	1	30	16
加 工 技 術 研 究 部	24	32	16	17	1	2	90	44
合 計	57	36	19	22	2	3	132	62

※同一の企業が複数の課題を申請しているため、企業数の合計は一致しない。

※同一の課題で複数の部が担当する場合があるため、依頼目的数の合計は一致しない。

※同一の課題で複数の目的を有する場合があるため、依頼目的数の合計は一致しない。

(2) 技術的人材育成の支援

① 企業等研究員受入制度

- ・ 該当無し

② 技術者研修

- ・ プラスチック材料技術研修

研 修 期 間	R 7.11. 6（計 3.5 時間）		研修参加者	5 名（4 企業）	
研 修 内 容	新入社員もしくは若手技術者を対象として、基礎的な知識や技術の習得を目指し、プラスチック成形技術概論の座学と、射出成形、機械的特性測定の実習を行いました。				
研修カリキュラム	研 修 科 目		時間数	講 師	
	座 学	プラスチック成形技術概論	1.5	材料技術研究部 主任研究員 塚脇 聡	
	実 習	射出成形、機械的特性測定	2	材料技術研究部 主任研究員 塚脇 聡 主任研究員 谷口勝得	

(3) 研究会活動

① ひろしま先進ものづくり研究会

設 置 目 的	外部機関等の協力を得ながら、先進技術や共通の基盤技術に関する次代の技術者・経営者の人材育成や、企業間交流を活用した技術課題の解決により、企業における新製品・新技術の開発や新市場の開拓等を行います。
会 員 数	47 企業、12 団体
活 動 内 容	企業における新しい価値を創造することを目的として、先進技術に関する技術セミナーや共通の基盤技術に関する研修、交流会等を行うこととしています。

(活動実績)

回 次	内 容	参加者 (名)	開催日	開催場所
総 会	○ 令和 6 年度事業報告 ○ 令和 6 年度決算および監査報告 ○ 令和 7 年度役員選出 ○ 令和 7 年度事業計画 ○ 令和 7 年度収支予算	42	R 7. 7. 22	東部工業 技術 センター 講堂
第 1 回 研 究 会	○ 「画像処理AIの前線：多分野への応用と産業利用の可能性」 立命館大学 理工学部 教授 孟 林 氏 ○ 「FA業界における画像処理AIの活用事例のご紹介」 東京エレクトロンデバイス株式会社 PB BU PB営業本部 デジタルファクトリー営業部 2グループ 宇津木 裕貴 氏 ○ 交流会（名刺交換会）	44	R 7. 7. 22	東部工業 技術 センター 講堂
第 2 回 研 究 会	○ 「機械学習・AIに基づく異常音検知の現状」 京都大学 大学院情報学研究科 准教授 井本 桂右 氏 ○ 「品質管理・設備故障予兆」 ～塑性・弾性変形エネルギー検知の基礎と応用～ 株式会社ジェイ・シー・シー 取締役 菊竹 慎強 氏 ○ 交流会（名刺交換会）	41	R 7. 9. 16	東部工業 技術 センター 講堂
第 3 回 研 究 会	○ 「FA業界むけAI画像検査技術のご紹介」 ～「自動学習AI」と「AI判定カメラ」～ オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー 商品事業本部 センサ事業部 第2開発部 第1開発課 池田 泰之 氏 ○ 「検査用照明の役割とAI画像処理の評価環境について」 シーシーエス株式会社 MVソリューション部 森川 裕也 氏 ○ 交流会（名刺交換会）	33	R 7. 12. 17	一般財団法人 備後地域 地場産業振 興センター

(4) 他機関への協力・支援

① 各種地域団体への協力・支援

名 称		出席者	開催日	開催地
福山溶接協会 福山市溶接技術コンクール	役 員 会	縄 稚 典 生 大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 7. 8.20	福 山 市
	コンクール	縄 稚 典 生 大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 7.10.11	福 山 市
	審 査 会	縄 稚 典 生 大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 7.12. 4	福 山 市
	表 彰 式	縄 稚 典 生 大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 7.12.10	福 山 市
公益財団法人呉産業振興センター 呉自社商品開発協議会		縄 稚 典 生	R 7. 5.12	呉 市
一般財団法人備後地域地場産業振興センター 運営委員会		縄 稚 典 生	R 7. 5.22 R 7.11.20 R 8. 3.17	福 山 市
広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会 幹事会 総会		坂 村 勝 〃	R 7. 7. 1 R 7. 8. 1	(web)
一般社団法人広島県発明協会備後支会 備後地区生徒児童発明くふう展審査会審査会		縄 稚 典 生	R 7. 9. 9	福 山 市
学校法人穴吹学園 文部科学省事業 令和6年度「地方やデジタル分野における 専修学校理系転換等推進事業」 先端 IT 人材育成学科新設 プログラム開発事業 プログラム検討委員会		竹 保 義 博	R 7. 7.30 R 8. 2. 5 ～ 2. 6	福 山 市

② 行政施策への協力・支援

ア 広島県

名 称	出席者	開催日	開催地
広島県東部産業支援会議	門 藤 至 宏 縄 稚 典 生 門 藤 至 宏	R 7. 6. 5 R 7.10.27 〃	福 山 市
広島県 IoT 人材育成セミナー	大 石 郁	R 8. 1.14	広 島 市
広島県産業支援機関等連携推進会議	縄 稚 典 生	R 8. 3.23	(w e b)

イ 福山市

名 称	出席者	開催日	開催地
産業支援者連絡会議	縄 稚 典 生	R 7. 4.16 R 7. 6. 4 R 7. 9. 3 R 7.11.26	福 山 市
アクションプラン策定会議	縄 稚 典 生	R 8. 1.15 R 8. 2. 9 R 8. 3.23	福 山 市

ウ 三原市

- ・ 該当無し

エ 府中市

- ・ 該当無し

(5) 他機関との連携

① 産業技術連携推進会議

ア 総 会

名 称	出席者	開催日	開催地
第 66 回産業技術連携推進会議 総会	縄 稚 典 生 坂 村 勝	R 8. 1.19	(web)

イ 技術部会

名 称	出席者	開催日	開催地
製造プロセス部会 精密微細加工分科会 積層造型研究会	竹 保 義 博	R 7.11.25	(web)
製造プロセス部会 IoT ものづくり分科会	古 本 浩 章	R 7.12. 4	山 形 県
知的基盤部会 計測分科会	佐々木秀和 山 形 亮 太 押 野 純 大	R 7.12.3 ～ 12.5	(web)

ウ 地域産業技術連携推進会議

名 称	出席者	開催日	開催地
中国地域産業技術連携推進会議 企画分科会	縄 稚 典 生 坂 村 勝	R 7. 6.10	(web)
	縄 稚 典 生 坂 村 勝	R 8. 1.13	

エ 地域部会

名 称	出席者	開催日	開催地
中国地域部会 機械・金属技術分科会	大 石 郁 市 川 皓 基	R 7.11. 4 ～ 11. 5	鳥 取 県

② 中国・四国地方公設試験研究機関

名 称	出席者	開催日	開催地
中国四国地方公設試験研究機関 共同研究（精密加工分野） 推進協議会	竹 保 義 博 佐々木秀和 山 形 亮 太 押 野 純 大	R 8. 2.27	福 山 市

③ その他

ア 国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携及び協力

名 称	出席者	開催日	開催地
材料 DX の扉を開く ～シミュレーションからインフォマテイクスまでの総合アプローチ～	青 山 進	R 7. 5. 12	(web)
マルチモーダル AI シンポジウムシリーズ 1	青 山 進 水 成 重 順 池 田 慎 哉	R 7. 6. 9 R 7. 6. 12 〃	(web)
マルチモーダル AI シンポジウムシリーズ 2	青 山 進	R 7. 6. 18	(web)
地域連携担当者会議	門 藤 至 宏	R 7. 6. 12 R 7. 11. 10 R 8. 2. 5	(web)
中国地域公設試験研究機関金属組織観察ラウンドロビン 試験結果報告会	池 田 皓 希	R 8. 3. 4	広 島 市
中国・四国地域公設試験研究機関研究者合同研修会	山 形 亮 太	R 7. 10. 16 ～ 10. 17	岡 山 市

イ 地方公設試験研究機関の連携

- ・ 該当無し

4. 技術サービス業務

(1) 依頼試験、設備利用及び機器整備

① センター研究員による依頼試験

ア 地域別

	地域名									合計
	呉市	尾道市	福山市	府中市	大竹市	東広島市	世羅町	岡山県	他都道府県	
申請件数	30	30	188	6	4	2	24	1	1	286
企業数	1	3	17	2	1	1	1	1	1	28
実績件数	30	72	445	12	40	2	24	2	2	629

イ 試験項目・担当部別

項目名 \ 担当部	材料技術部 材 料 技 術 研 究 部	加工技術部 加 工 技 術 研 究 部	実績件数計	企業数
材料試験	0	374	374	18
機械器具性能強度試験	51	3	54	5
繊維及び繊維製品の物性試験	3	0	3	1
測定	10	0	10	1
一般定量分析	23	0	23	2
特殊定性試験及び特殊定量分析	1	52	53	5
工業用水・工場排水試験	48	0	48	1
成績書及び証明書	1	0	1	1
前処理及び試料調製	0	63	63	4
合 計	137	492	629	28

※同一企業で複数項目の対応があるため、企業数の合計は一致しない。

②試験研究業務従事員による依頼試験（コンクリート・鉄筋関連）

ア 地域別

	地 域 名						
	広 島 市	呉 市	三 原 市	尾 道 市	福 山 市	府 中 市	
申請件数	74	14	1	150	1123	83	
企 業 数	8	5	1	17	29	3	
実績件数	253	40	3	450	3358	215	
	地 域 名						合 計
	東 広 島 市	府 中 町	坂 町	岡 山 県	島 根 県	他都道府県	
申請件数	1	2	3	125	1	3	1,580
企 業 数	1	1	2	18	1	2	85
実績件数	3	4	9	418	3	5	4,761

※同一の企業で複数地域の事業所が存在するため、企業数の合計は一致しない。

イ 試験項目別

項 目 名	実 績 件 数	企 業 数
鉄筋コンクリート用棒鋼（引張、曲げ、曲げ戻し）試験	831	41
コ ン ク リ ー ト 圧 縮 試 験	3,823	46
写 真	28	7
成 績 書 、 証 明 書	46	14
前 処 理 、 試 料 調 製	33	7
合 計	4,761	85

※同一企業で複数項目の対応があるため、企業数の合計は一致しない。

③ 設備利用

ア 地域別

	地 域 名										
	広島市	呉 市	竹原市	三原市	尾道市	福 山 市	府中市	三 次 市	庄原市	大 竹 市	東広島市
申請件数	171	58	1	82	56	1,016	99	36	3	9	142
企 業 数	25	8	1	11	12	87	13	2	2	2	25
実績件数	653	126	1	197	91	2,696	189	112	10	35	423
	地 域 名										合 計
	廿日市市	安 芸 太 田 町	府中町	坂 町	北広島町	世 羅 町	山口県	岡 山 県	鳥取県	他 都 道 府 県	
申請件数	5	4	4	7	4	1	10	335	8	64	2,115
企 業 数	2	2	1	1	1	1	3	47	2	12	247
実績件数	9	6	8	75	4	2	41	1,182	28	317	6,205

※同一の企業で複数地域の事業所が存在するため、企業数の合計は一致しない。

イ 設備別

設 備 名	件数	企業数	設 備 名	件数	企業数
万能引張圧縮試験機（10kN）	612	29	メルトインデクサー	117	7
振動試験機	607	26	赤外分光光度計	103	21
X線C T	464	72	X線回折装置	103	4
走査型電子顕微鏡	382	370	F E式走査型電子顕微鏡	100	18
塩乾湿複合サイクル試験機	276	10	蛍光X線分析装置	98	15
熱分析装置	231	17	万能引張圧縮試験機（100kN）	97	14
熱衝撃試験機	227	7	万能引張圧縮試験機（500kN）	83	24
恒温恒湿器	221	12	その他	969	91
伝導性イミューニティ試験機	179	9	設備利用において職員が行う機器操作	1,034	195
屈曲疲労試験機	162	1			
シールドルーム	140	13	合 計	6,205	247

※同一の企業が複数の設備を利用しているため、企業数の合計は一致しない。

ウ 機器整備

・令和7年度整備の機器

機 器 名	メーカー・型番	数量	使用目的	取 得 年月日	設置場所
騒音計	リオン株式会社 NL-53EX	1 式	騒音を精密に測定	R 7. 5. 16	化学プロセス研究室
パーソナルコンピューター	株式会社ユニットコム	1 式	機械学習用	R 7. 7. 28	情報機器室
純水製造装置	ヤマト科学株式会社 WG206	1 式	純水及びイオン交換水を製造	R 8. 3. 26	分析試験室

・令和6年度以前に整備した主要機器（平成26年度以降取得分）

機 器 名	メーカー・型番	数量	使用目的	取 得 年月日	設置場所
帯のご盤*	株式会社アマダマシナリー SCP-25SA	1 式	金属素材の切断	R 7. 1. 20	工作実験室
万能引張圧縮試験機 (500kN) *	株式会社東京衡機試験機 YU-500S5	1 式	引張・圧縮・曲げ強度・ 歪みを測定	R 7. 1. 20	開放試験室
溶射ステージ	株式会社栄工社 特注	1 式	防塵仕様の溶射用 X-Z 操作ステージ	R 6. 7. 26	塗装試験室
パーソナルコンピューター	株式会社ユニットコム ILeDEs-R7X7-LR78D-ZE2XB	1 式	機械学習用	R 6. 6. 26	材料技術研究部室
照度計	ウシオ電機株式会社 UIT-201	1 式	超促進耐候試験機の照 度の確認	R 6. 6. 25	環境試験室
電導度計****	日本ソナテスト株式会社 FD-101	1 式	渦流式による金属等の 導電率の測定	R 6. 6. 5	加工技術研究部室
メルトインデクサー*	インストロンジャパン カンパニイリミ テッド MFi7	1 式	メルトフローレートや メルトボリュームフロ ーレートの測定	R 5. 12. 19	化学プロセス研究室
角度可変スライサー	ジャスコエンジニアリング株式会 社 HW-1型	1 式	成分分析等のための切 片作成、断面出し	R 5. 8. 8	化学プロセス研究室
データロガー****	株式会社キーエンス NR-500	1 式	測定した温度などのデ ータ記録、表示、解析	R 5. 2. 3	三次元画像計測室
高速回転ホルダー**	株式会社戸田精機 BT50-FSW20U5-310	1 式	摩擦かくはん接合装置 の接合ツール回転速度 の高速化	R 4. 12. 27	システム技術普及 センター
圧縮強度試験機*	株式会社東京衡機試験機 AC-2000S5	1 式	主にコンクリートの圧 縮強度の測定	R 4. 12. 21	開放試験室
振動試験機*	IMV株式会社 J230/EM3AM	1 式	工業製品の振動に対す る耐久性の評価	R 4. 12. 2	YAG レーザー実験室
浸漬型光ファイバー 温度計****	JFEプラントエンジニア株式会社 FIMTHERM-HM II	1 式	金属接合時の温度測定	R 4. 3. 18	システム技術普及 センター
ミシン	ブラザー工業株式会社 S-7250A-303	1 式	繊維試験の試料等の作 製	R 3. 7. 7	繊維加工技術研究室
レーザ加工機***	サンインストルメント株式会社 YS-P30	1 式	レーザにより表面処理 加工を実施	R 3. 2. 22	照明設計開発室
万能引張圧縮試験機 (100kN) *	株式会社エー・アンド・ディ RTF-2410	1 式	引張・圧縮・曲げ強度・ 歪みを測定	R 2. 11. 13	木質材料試験室

データロガー**	グラフテック株式会社 GL7000Plus	1 式	測定した温度などのデータ記録、表示、解析	R 2. 11. 12	塗装試験室
粉体供給装置**	Metallisation 2007MF-PF	1 式	溶射装置へ粉体を安定して供給	R 2. 10. 5	塗装試験室
摩擦かくはん接合装置	東芝機械株式会社 MPF-2114FS	1 式	摩擦攪拌技術による金属材料等の接合	R 2. 3. 19	システム技術普及センター
データロガー	株式会社キーエンス NR-600	1 式	測定した温度、変位、荷重、電圧などのデータ記録、表示、解析	R 1. 9. 27	電子測定機器室
精密強度評価用 万能試験機	株式会社島津製作所 AG-Xplus 10kN	1 式	引張・圧縮・曲げ強度・ひずみ測定	H31. 1. 21	新素材応用研究室
熱衝撃試験機	エスベック株式会社 TSA-203ES-W	1 式	急激な温度変化による信頼性・耐久性評価	H31. 1. 18	炭素繊維複合材料研究室
X 線 CT	株式会社島津製作所 inspeXio SMX-225CT FPD HR	1 式	非破壊での内部観察	H30. 12. 25	内部構造測定室
製品設計シミュレータ	SOLIDWORKS Professional SOLIDWORKS Simulation Premium ANSYS Mechanical Enterprise	1 式	熱・構造解析ソフトウェア	H30. 12. 21	第 3 相談室
3D デジタイザ	東京貿易テクノシステム株式会社 COMET L3D2	1 台	非接触での形状情報取得	H30. 12. 21	LED 等計測評価試験室
FE 式走査型電子顕微鏡	日本電子株式会社 JMS-7200F	1 式	電子線を用いた対象物の形状観察	H30. 10. 19	工業材料試験室
蛍光 X 線分析装置*	株式会社リガク ZSXprimus	1 式	元素の定性・定量分析	H30. 9. 6	工業材料試験室
雑音電力測定システム	株式会社東陽テクニカ MAC600A	1 式	EMC 評価	H30. 3. 28	シールドルーム
熱分析装置*	株式会社リガク Thermo plus EV02 TG-DTA8122	1 式	熱的物性評価	H29. 9. 25	高分子加工研究室
マルチセンサ式 座標測定機*	QVI社SmartScope VANTAGE600	1 式	部品の座標測定	H29. 1. 13	精密測定室
恒温恒湿器*	エスベック(株)ARS-1100-J	1 式	温度環境試験	H27. 12. 11	高分子融合化開放試験室
マルチデータ収録システム	グラフテック(株)GL7000	1 式	測定した温度、変位、荷重、電圧などのデータ記録、表示、解析	H27. 9. 18	電子測定機器室
塩乾湿複合サイクル試験機*	スガ試験機(株)CYP-90型	1 式	金属材料等の塩水噴霧や複合サイクル試験	H26. 12. 8	第 1 開放試験室
光フリッカー測定器	(株)トプコンテクノハウスRD-80SA	1 式	光フリッカー測定試験	H26. 9. 30	照明計測評価試験室
近赤外分光放射輝度計	(株)トプコンテクノハウスSR-NIR	1 式	近赤外分光計測	H26. 9. 30	照明計測評価試験室

* 公益財団法人 JKA「公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」により整備

** 公益財団法人 JKA「公設工業試験研究所等が主体的に取り組む共同研究補助事業」により整備

*** 公益財団法人天田財団「奨励研究助成（若手研究者枠）事業」により整備

**** 公益財団法人天田財団「奨励研究助成（一般研究開発助成事業）事業」により整備

***** 公益財団法人中国地域創造研究センター「新産業創出研究会」により整備

(2) 刊行物等による情報提供

業務概要、年報及び研究報告をホームページ（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/>）に掲載しました。

(3) 外部委員等の委嘱及び講師等の派遣

① 外部委員等の委嘱

委 嘱 元 機 関	内 容	委 員
一般社団法人溶接学会中国支部	主幹事	大 石 郁
一般社団法人日本複合材料学会	代議員	松 葉 朗
一般社団法人日本複合材料学会西部支部	支部幹事	松 葉 朗
公益財団法人日本鑄造工学会中国四国支部	常任理事	花 房 龍 男
一般社団法人日本溶射学会西日本支部	幹事	花 房 龍 男
一般社団法人広島県発明協会備後支会	備後地区生徒児童発明くふう展審査会審査委員長	縄 稚 典 生
一般財団法人備後地域地場産業振興センター	運営委員会委員	縄 稚 典 生
広島中央サイエンスパーク 研究交流推進協議会	広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会理事	縄 稚 典 生
	広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会幹事	坂 村 勝
一般社団法人広島県溶接協会	広島県溶接技術競技会審査委員	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基
一般社団法人軽金属溶接協会	FSW 技術委員会委員	坂 村 勝
福 山 溶 接 協 会	福山市溶接技術コンクール審査委員長	縄 稚 典 生
	福山市溶接技術コンクール審査委員	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基
中国ゴム技術研究会	常任幹事 幹事	水 成 重 順 塚 脇 聡
広島県職業能力開発協会	技能検定委員	山 口 翔 大
福 山 市	福山市販路開拓支援事業審査会委員	縄 稚 典 生
	福山市環境審議会委員	水 成 重 順
学校法人穴吹学園	地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業 先端 IT 人材育成学科新設プログラム開発事業 検討委員	竹 保 義 博
公益社団法人精密工学会中国四国支部	幹事	佐々木秀和

② 講師及びその他の業務による派遣

派遣先機関	内 容	職 員	期 間	派遣地
一般社団法人 広島県溶接協会	広島県溶接技術競技会競技審査	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 7. 6. 1	広島市
		大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 7. 6. 15	広島市
		大 石 郁	R 7. 7. 6	広島市
広島県職業能力 開発協会	技能検定実技試験（化学分析作業）技能 検定委員 ・水準調整会議 ・前期技能検定実技試験 （化学分析作業 1 ・ 2 級）	山 口 翔 大	R 7. 6. 9	広島市
		山 口 翔 大	R 7. 8. 31	福山市 〃

(4) その他（技術交流等）

○ 学協会への協力

学 協 会	出席者	開催日	開催地
公益社団法人日本鑄造工学会 中国四国支部講演会	花 房 龍 男	R 7. 4. 24	広 島 市
一般社団法人軽金属溶接協会 FSW 技術委員会	坂 村 勝	R 7. 5. 14 R 7. 9. 1 R 7. 12. 24	東 京 都
一般社団法人溶接学会 見学会	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基 池 田 皓 希	R 7. 6. 19	福 山 市
中国ゴム技術研究会 定時総会・記念講演 〃 研究会 〃	塚 脇 聡	R 7. 6. 20 R 8. 1. 11 R 8. 3. 17	岡 山 県 岡 山 県 福 山 市
広島大学デジタルものづくり教育研究センター 材料 MBR コンソーシアム	塚 脇 聡	R 7. 7. 11 R 7. 10. 1 R 7. 10. 3	(web)
一般社団法人日本音響学会 第154回(2025年秋季)研究発表	塚 脇 聡	R 7. 9. 10 ～ 9. 11	宮 城 県
一般社団法人溶接学会 秋季全国大会	大 石 郁 市 川 皓 基	R 7. 9. 24 ～ 9. 26	新 潟 県
令和 7 年度 第 2 回広島高分子材料研修会 (広島ゴム技術員会 10 月例会講演会)	塚 脇 聡	R 7. 10. 10 R 8. 2. 20	広 島 市 広 島 市
次世代技術研究会技術講演会	竹 保 義 博 古 本 浩 章	R 7. 10. 15	東広島市
一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 令和 7 年度ウエザリング技術研究成果発表会	谷 口 勝 得	R 7. 11. 26	東 京 都
公益財団法人日本鑄造工学会 令和 7 年度中国四国支部研究発表会・講習講習会	花 房 龍 男	R 7. 12. 5	広 島 市
一般社団法人日本計算工学会 第 14 回 公設試シンポジウム	門 藤 至 宏 池 田 慎 哉	R 8. 3. 5 ～ 3. 6	(web)
一般社団法人情報処理学会 第 88 回全国大会	押 野 純 大	R 8. 3. 6	愛 媛 県
日本溶射学会 AI 技術活用研究分科会	花 房 龍 男	R 8. 3. 18	(web)

5. 職員研修

名 称	職 員	期 間	研修先
Winmostar TechDay 2025	池 田 慎 哉	R 7. 6. 2	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター (w e b)
令和7年度（初級）知的財産研修（第1回）	押 野 純 大	R 7. 6. 4 ～ 6. 6	(w e b)
DIC 入門セミナー2025	塚 脇 聡	R 7. 7. 2	(w e b)
危険物取扱主任者保安講習	谷 口 勝 得	R 7. 7. 3	福山消防合同庁舎
MBR 勉強会	塚 脇 聡	R 7. 7. 11 R 7. 10. 1 R 7. 10. 3	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 (w e b)
ゴム技術講習会 ―ゴム製品のものづくり技術―	塚 脇 聡	R 7. 7. 18 R 7. 9. 26	テクノサポート岡山
組込み技術者のためのプログラミング (Python と Raspberry Pi 活用編)	山 形 亮 太	R 7. 7. 17 ～ 7. 18	四 国 職 業 能 力 開 発 大 学 校
切削技術交流会	松 葉 朗 大 田 耕 平	R 7. 7. 23	備後地域地場産業 振興センター
クレーン運転業務（学・実）に係る特別教育	押 野 純 大	R 7. 10. 9 ～10. 10	広島県労働基準協 会 福山教習所
玉掛技能講習	押 野 純 大	R 7. 10. 14 ～10. 16	広島県労働基準協 会 福山教習所
広島中央サイエンスパーク研究交流セミナー ～プラスチックマテリアルリサイクルの社会実 装に向けて～	青 山 進	R 7. 12. 15	広 島 大 学 デ ジ タ ル も の づ く り 教 育 研 究 セ ン タ ー (w e b)
ロボットシステム設計技術（AI 活用編）	押 野 純 大	R 8. 1. 22 ～ 1. 23	高度ポリテクセン ター（千葉県）
設計に活かす！ 3 次元 CAD 活用術（ソリッド 編）【SolidWorks】	市 川 皓 基	R 8. 2. 17 ～ 2. 18	高度ポリテクセン ター（千葉県）
はじめての CAE 代替モデル構築 ～CAE によるデータ生成から機械学習まで～	山 形 亮 太	R 7. 2. 19	サイバネットシス テム株式会社 本社
CAE 構造解析を活用した寸法・形状最適化	山 形 亮 太	R 8. 3. 11 ～ 3. 12	四国職業能力開発 大学校
令和7年度やまぐち3Dものづくり研究会 技術 セミナー 樹脂系3Dプリンター造形材料の新潮流	竹 保 義 博	R 8. 3. 13	山口県産業技術セ ンター

6. 知的財産権

(1) 登録特許権等

登録番号	発明の名称	特許権者	発明者	出願日
4376938	コルヌ螺旋歯形歯車	広島県、宮奥 勉	佐々木秀和、宮奥 勉、兼廣二郎	H18. 4. 6
5659343	パルスデトネーション溶射装置及び溶射方法	国立大学法人広島大学、広島県、マイメタリコン株式会社、鈴木精工株式会社、関西テクノサポート	遠藤琢磨、須佐秋生、花房龍男、竹保義博、松浦英次、鈴木忠彦、榎原 均	H22. 6. 30
5679259	鋏型手動利器、グリップアタッチメント及びグリップ被覆構造	広島県、有限会社ウド・エルゴ研究所	塚脇 聡、宇土 博	H22. 3. 30
6260902	ビタミンA測定装置及びビタミンA測定システム	広島県、株式会社藤原製作所、東亜ディーケーケー株式会社	河野幸男、和田雅行、宮野忠文、廣川勝久、藤原基次、井上浩一、伊藤 哲、羽毛田靖	H26. 3. 10
6837634	光源および誘因抑制方法	広島県	石倉 聡、軸丸 祥大、星野 滋、亀井幹夫、和田 雅行	R 1. 7. 30
6977996	異材接合方法	広島県	松葉 朗、坂村 勝、竹保 義博	H30. 3. 29

(2) 出願中の特許等

- ・ 該当無し

7. 職員表彰と学位授与

(1) 職員表彰

職員	内 容	機 関	表彰日
縄稚典生	2025年度中国地域公設試験研究機関 功績者表彰 地域技術貢献賞	公益財団法人 中国地域 創造研究センター	R 7.12. 5

(2) 学位授与

- ・ 該当無し

8. 沿革・組織・規模

(1) 沿革

《広島県立福山繊維工業試験場》

明治40年 5月(1907)	農商務大臣より設立認可を受ける。
明治41年 3月(1908)	福山西町に広島県繊維工業試験場を設置する。
大正 3年 3月(1914)	広島市白島に広島分場を設置する。
大正 7年 4月(1918)	総合試験場設置のため本場を広島県工業試験場染織部と改称し、染料部を増設する。分場を染織支部と改める。
大正08年 4月(1919)	広島県福山工業試験場に改称する。
大正09年 4月(1920)	広島分場は広島工業試験場に合併する。
昭和11年 8月(1936)	福山市野上町に庁舎を移転する。
昭和19年 3月(1944)	図案部を廃止する。
昭和19年 5月(1944)	広島県工業指導所福山支所と改称する。
昭和20年 2月(1945)	広島県工業研究所福山支所と改称する。本所が原爆で壊滅したため、化学・金属・食糧に関する業務を福山支所で行う。
昭和22年 1月(1947)	広島県福山工業試験場に名称復元する。
昭和42年 4月(1967)	広島県立福山繊維工業試験場と改称する。
昭和46年 4月(1971)	福山市山手町に庁舎を新築移転する。
昭和62年 3月(1987)	組織改正（広島県立東部工業技術センターとしての発足）のため、閉庁する。

《広島県立工芸試験場》

昭和28年 4月(1953)	広島県立木履指導所として設立する。
昭和28年 5月(1953)	沼隈郡松永町（現、福山市松永町）371 番地の 10 に庁舎を竣工する。
昭和33年 4月(1958)	広島県立木工指導所と改称する。
昭和43年 3月(1968)	府中市須田町中須田地 1648 番地の 3 に府中事務所を設置する。
昭和43年 8月(1968)	福山市柳津町 2252 番地の 18 に新庁舎竣工、移転する。
昭和47年 3月(1972)	広島県立工芸試験場に改称する。
昭和47年10月(1972)	府中事務所に木工開放試験室を設置する。
昭和62年 3月(1987)	組織改正（広島県立東部工業技術センターとしての発足）のため、閉庁する。

《広島県立西部工業技術センター福山支所》

昭和24年11月(1949)	呉市公園通 6 丁目に広島県立呉工業試験場を設置する。
昭和39年 4月(1964)	福山市野上町に福山支場を設置する。
昭和40年 5月(1965)	福山市山手町に庁舎を新築移転する。
昭和59年 4月(1984)	広島県立西部工業技術センター福山支所に改称する。
昭和62年 3月(1987)	組織改正（広島県立東部工業技術センターとしての発足）のため、閉庁する。

《広島県立東部工業技術センター》

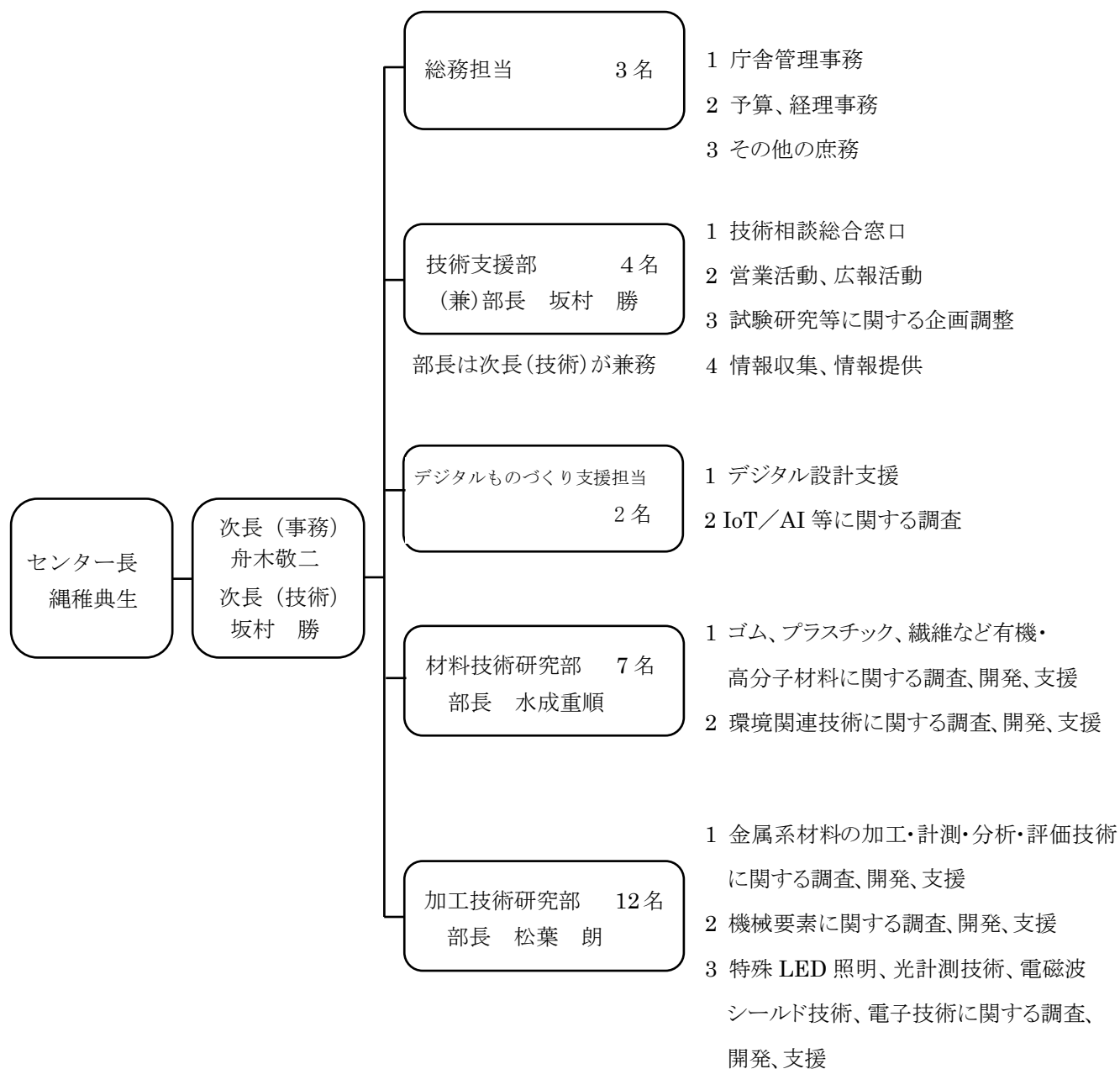
昭和62年 4月(1987)	広島県立東部工業技術センターを設置する。事務所は、各々旧試験場（支所）に分散する。
昭和62年 7月(1987)	広島県福山市東深津町三丁目 2 番 39 号に庁舎を新築、移転する。
平成 2年 3月(1990)	地域システム技術開発事業により地域システム普及センターを増設する。
平成 5年 4月(1993)	組織の一部を改正し、企画管理部、機械金属部、電子応用部、工業デザイン部、木材工業部、繊維工業部、工業化学部とする。
平成 7年 5月(1995)	天皇、皇后両陛下のご視察を賜る。
平成11年 4月(1999)	組織を業種対応型から技術対応型に改正し、企画管理部、情報技術部、材料技術部、応用加工技術部、産業デザイン部、生活技術部とする。
平成16年 4月(2004)	県内 8 試験研究機関が一元化され、総務企画部の地方機関となる。
平成18年 4月(2006)	行政機構改編に伴い、政策企画部の地方機関となる。

(広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター)

平成19年 4月(2007)	8 試験研究機関を統合し広島県立総合技術研究所を設置する。事務所は各々センターに分散する。組織を総務担当、技術支援部、加工技術研究部、材料技術研究部とする。
平成25年 4月(2013)	LED プロジェクトチームを設置する。（平成 28 年 4 月プロジェクト終了に伴い、チームを解消する。）
平成30年 4月(2018)	デジタルものづくり支援担当を設置する。（令和 8 年 4 月、デジタルものづくり支援担当を廃止する。）

(2) 組 織

(令和7年4月1日現在)



計 31 名 （外 試験研究業務従事員 4 名）

(3) 職 員

① 現員の状況

(令和8年3月31日現在)

区 分	センター長	次長	部長	担当部長	総括研究員	副部長	主任研究員	主任研究員 (シニアスタッフ)	研究員	主査	主査 (シニアスタッフ)	研究員(エルダー)	計	試験研究業務従事員
現 員	1	2	2	3	1	2	8	2	5	2	1	2	31	4
内 訳		1	2										3	
	総務担当									2	1		3	
	技術支援部			(1)	1		1	1				1	4	
	デジタルものづくり支援担当				1		1						2	
	材料技術研究			1		1	3		1				7	2
	加工技術研究			1	1	1	3	1	4			1	12	2

技術支援部長(1)は次長が兼務

② 職 員

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	縄 稚 典 生
	次 長	舟 木 敬 二
	〃	坂 村 勝
	主 査	迫 田 聖 二
総務担当	〃	本 井 孝 浩
	主 査 (シニアスタッフ)	大 成 篤
技術支援部	(兼) 部 長	坂 村 勝
	担 当 部 長	門 藤 至 宏
	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	青 山 進
	主 任 研 究 員	山 口 翔 大
	研究員(エルダー)	橋 本 寿 之
デジタル 支援担当	担 当 部 長	竹 保 義 博
	主 任 研 究 員	古 本 浩 章
材料技術研	部 長	水 成 重 順
	総 括 研 究 員	池 田 慎 哉
	副 部 長	倉 本 恵 治
	主 任 研 究 員	塚 脇 聡

	主 任 研 究 員	小 村 直 樹
	〃	谷 口 勝 得
	研 究 員	渡 邊 正 宗
	試験研究業務従事員	松 岡 秀 子
	〃	河 相 美 幸
加工技術研究部	部 長	松 葉 朗
	担 当 部 長	大 石 郁
	副 部 長	花 房 龍 男
	主 任 研 究 員	中 濱 久 雄
	〃	佐々木 秀 和
	〃	大 田 耕 平
	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	宗 廣 修 興
	研 究 員	山 形 亮 太
	〃	市 川 皓 基
	〃	押 野 純 大
	〃	池 田 皓 希
	研究員(エルダー)	廣 川 勝 久
	試験研究業務従事員	寺 岡 武
	〃	金 本 紘 一

(4) 土地・建物

敷地面積：10,017.65m²、建築面積：4,072.22m²、延べ面積：6,503.16m²

名 称	構 造	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	年月日
研 究 棟	鉄筋コンクリート造	1,079.51	3,627.37	S62. 6.24
実 験 棟	鉄 骨 造	2,475.36	2,208.85	H 2. 3.23 (改 築)
エネルギー棟	鉄筋コンクリート造	319.73	469.32	S62. 6.24
車 庫 棟	鉄 骨 造	93.60	93.60	S62. 6.24
危 険 物 庫	鉄 骨 造	14.57	14.57	S62. 6.24
渡 り 廊 下	鉄 骨 造	44.45	44.45	S62. 6.24
駐 輪 場	鉄 骨 造	24.00	24.00	S62. 6.30
ゴミ集積場	鉄 骨 造	21.00	21.00	S62. 6.24

(5) 予算の執行状況

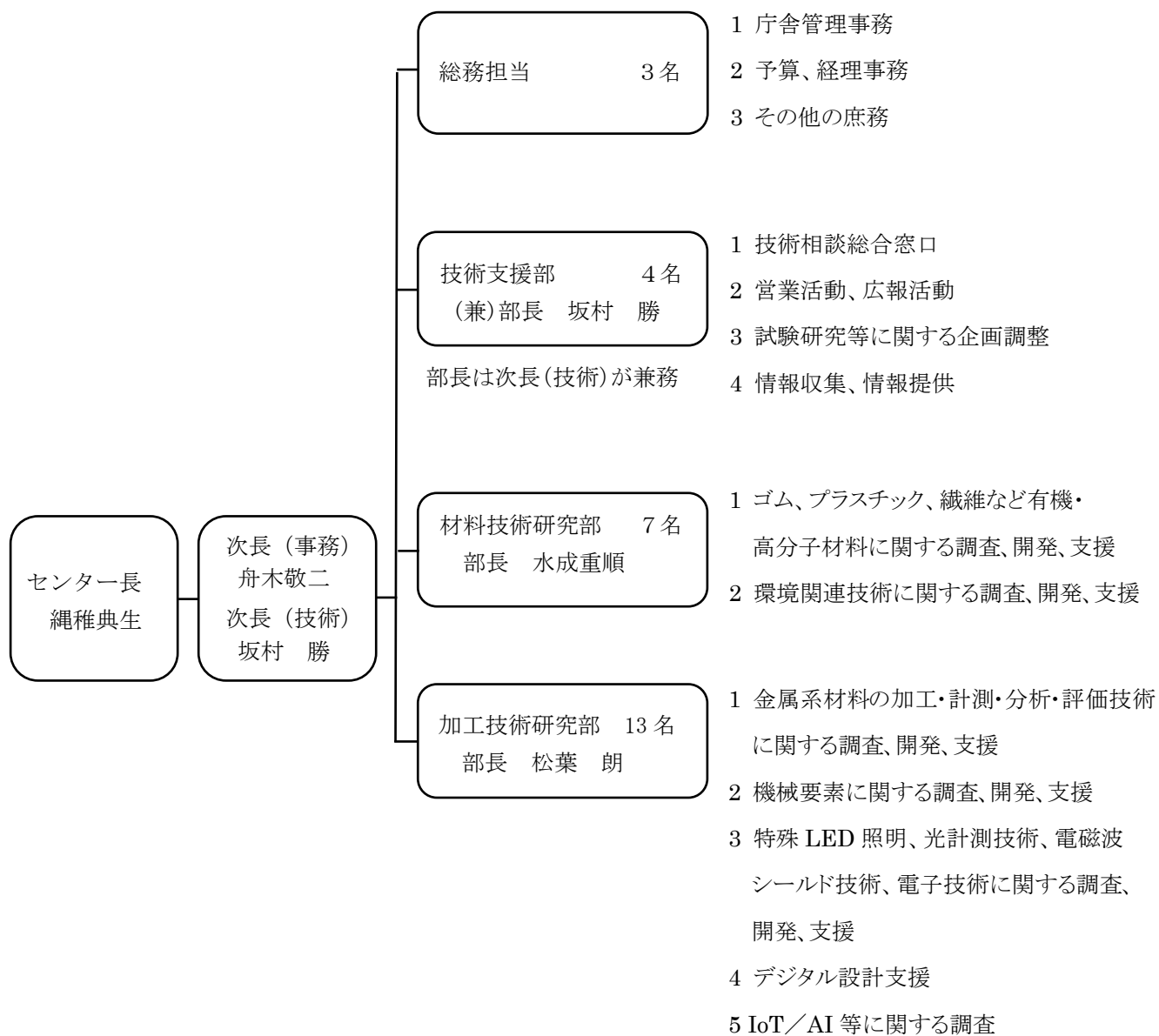
(単位：円)

項 目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	備 考
歳 入 (人件費を除く)		47,651,981	65,577,414	41,152,048	
内 訳	使用料・手数料等	28,816,900	29,278,500	32,903,040	
	一 般 財 源	11,559,877	31,379,917	2,991,980	
	財 産 収 入	209,030	330,539	147,960	
	諸 収 入	7,066,174	4,588,458	5,109,068	受託研究費、弁償金等
歳 出 (人件費を除く)		47,651,981	65,577,414	41,152,048	事業費の合計
内 訳	研究開発推進費	6,485,408	6,866,487	5,649,666	
	技 術 指 導 費	18,885,900	38,051,634	15,995,534	
	管 理 運 営 費	22,280,673	20,659,293	19,506,848	

付 録 令和 8 年度組織

(1) 組 織

(令和 8 年 4 月 1 日現在)



計 30 名（外 試験研究業務従事員 4 名）

(2) 職 員

① 現員の状況

(令和8年4月1日現在)

区 分	セ ン タ ー 長	次 長	部 長	担 当 部 長	総 括 研 究 員	副 部 長	主 任 研 究 員	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	研 究 員	主 査	主 査 (シニアスタッフ)	研 究 員 (エルダー)	計	試験研究業務従事員
現 員	1	2	2	3	1	2	8	3	3	1	2	2	30	4
内 訳		1	2										3	
	総 務 担 当									1	2		3	
	技 術 支 援 部			(1)	1		1	1				1	4	
	材料技術研究部			1		1	4						7	2
	加工技術研究部			1	2	1	3	2	3			1	13	2

技術支援部長(1)は次長が兼務

② 職 員

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	縄 稚 典 生
	次 長	舟 木 敬 二
	〃	坂 村 勝
	〃	坂 村 勝
総務担当	主 査	若 崎 由 香
	主 査 (シニアスタッフ)	大 成 篤
	〃	迫 田 聖 二
	〃	迫 田 聖 二
技術支援部	(兼) 部 長	坂 村 勝
	担 当 部 長	倉 本 恵 治
	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	青 山 進
	主 任 研 究 員	山 口 翔 大
	研 究 員 (エルダー)	橋 本 寿 之
	〃	橋 本 寿 之
材料技術研究部	部 長	水 成 重 順
	総 括 研 究 員	池 田 慎 哉
	副 部 長	塚 脇 聡
	主 任 研 究 員	小 村 直 樹
	〃	谷 口 勝 得
	〃	杉 原 正 洋

	主 任 研 究 員	渡 邊 正 宗
	試験研究業務従事員	松 岡 秀 子
	〃	河 相 美 幸
加工技術研究部	部 長	松 葉 朗
	担 当 部 長	竹 保 義 博
	担 当 部 長	大 石 郁
	副 部 長	佐々木 秀 和
	主 任 研 究 員	中 濱 久 雄
	〃	古 本 浩 章
	〃	大 田 耕 平
	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	宗 廣 修 興
	〃	門 藤 至 宏
	研 究 員	山 形 亮 太
	〃	市 川 皓 基
	〃	押 野 純 大
	研 究 員 (エルダー)	廣 川 勝 久
	試験研究業務従事員	寺 岡 武
	〃	金 本 紘 一

広島県立総合技術研究所
東部工業技術センター年報

令和7年度

(No.39)

編集者/発行者

広島県立総合技術研究所東部工業技術センター

〒721-0974 広島県福山市東深津町三丁目 2-39

電話 084-931-2402 / FAX 084-931-0409

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/>

E-mail ekcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp